

Dr.わーだーの養生記

vol.11

「屋台と健康(5)」

こち
心血医院

院長 和田 豊郁



屋台は戦後の復興を支えた一時的なもので、いずれ路面店へと移っていくもの...屋台を観光資源と考えている福岡と久留米とでは公衆トイレへの関心度が異なります。帰ったら玄関が異臭のする液体でベチョベチョというのはイヤでしょう？どこでもされないような仕組みは大切です。特に女性はキレイでないと使いません。

日本人は外でせっせと働き、家に食糧を持ち帰り蓄え、家で食事をするという蟻のような生活をするものだと考えているフシがあります。しかし哺乳類は巣では寝るか、子育てをし、外で立ったまま食べるのが普通です。こども達が動きながら食べたがるのはそれが本能だからです。パーベキューの時は立って食べるのは比較的平気でしょう？

引きこもりがからだに良くないと思うのも本能。運動会や遠足のお昼ごはんを思い出し健康維持のためには外で食べた方が良いのかも？家にいたがるのは日本人だけかも？と思い切ってみては？

■ 心血医院

久留米市日吉町14-68 / TEL.0942-65-5129

診療時間:〈月～土〉9:00～12:00、〈月火・木金〉19:00～22:00

休診日:日祭・盆・年末年始